

作文「2年生になって」②

「様々な気持ちが重なる新学期」

C組

「私、C組なんだ。」

クラス表が配られて自分のクラスが分かったとき、ある二つの気持ちを感じた。それは、不安、そして少しの楽しみだった。

恐る恐る教室に入るとなんだか平和な雰囲気がC組にはあった。そこで、前のクラスで仲が良かった子と離れてしまって少し悲しい気持ちとともに、新しい友達をつくるチャンスという気持ちが出てきた。また、不安も少し解消したように感じた。

しかし、人見知りな私は同じクラスの子に積極的に話しかけることができなかった。自己紹介をする時も緊張してうまく話せなかったり、早口になってしまったりした。だから、私は自己紹介ビンゴが不安だった。ビンゴが始まってみんな積極的に話しかけに行く中で私は誰にも話しかけられなかった。でも、少し勇気を出して話しかけてみると優しくみんな話しやすかった。

私は、この一年を通して目標が二つある。一つ目は新しい友達をつくり、そして平和な楽しいクラスにしたい。そのために、自分から積極的に話しかけることを頑張りたい。二つ目は、定期テストの勉強を計画的に進め、良い点がとれるようにしたい。そのために、ワークなどを日頃から進めて「分からない」を「分かる」に変えられるように頑張りたいと思う。

最後に私は一年間を通して、三学期C組でよかったと思えるクラスにしたい。



<自己紹介ビンゴの様子>

「楽器が弾ける」「料理が好き」などの項目に当てはまる人を探し、名前を書いてもらうビンゴゲーム。5つそろうとビンゴになります。勇気を出して話しかけ、全部のマスを埋めた人もいました！

「二年生になって」

C組

私は始業式、2年生になりました。入学式で新しく入ってきた一年生を見たとき、とても「なつかしい」と思いました。それはまだ小学生のように見えたり、中学校生活に慣れていないように見えたりしたからです。今の自分を考えてみると二度目の入学式であり、先生や授業の様子、お互いの声かけなど知っていること体験したこと、助け合うことを分かっているからこそ、初めて先輩になったんだと自覚しました。先輩だからできることって何があるか、それは後輩にこの学校の楽しさや大変なこと、小学校との違いを教えることだと思います。

私が一年生のとき、大変だったことが三つあります。まず、学校の教室の場所です。教室移動の時、どの階段を使ってよいのか全く分かりませんでした。でも、間違っていたり、迷っていたりするとき先輩が場所を教えてくれたのです。そこからだんだんと場所を覚えられ、移動がスムーズになり、友達と一緒に移動できることがとても楽しくなりました。

次に行事では、やったことがないことばかりでどう練習すればよいのか分からない状況でした。でも、先輩はかっこよくて、来年は違う練習方法にしようと学ぶことができました。でも、友達と一緒に準備した行事はとても楽しく、仲が深まる楽しさを教えたいと思います。

最後に勉強です。小学校の頃、簡単だと油断しているとだんだん追いつけなくなってしまい苦戦しました。初めてのテストで緊張したり、難しさであせったりすることもあると思います。部活の両立でできなくなってしまうことは多々あるため、後輩が困っていたら、相談しやすいようサポートができるようになりたいです。私は二年生になって後輩の見本になれるよう、でも堅苦しい関係にならないように過ごしていきたいと思います。



<クラス目標決め>学級委員を中心に意見を出し合ってどんなクラスにしたいか目標を話し合って決めました。